

第2回留学生インターンシップ発表交流会

H.19.10.31 ホテルコンチネンタル横浜

今夏実施した留学生インターンシップ（留学生23名：受入れ12企業）の発表交流会を開催。約60名の企業・大学関係者等が参加した。冒頭、高橋会長より「グローバル化が進む中、企業として諸外国の若い方を直接知っておく必要がある。また、日本に来た留学生にも日本企業の現場を肌で感じて頂きたいと、全国に先駆けて留学生インターンシップを始めた」とご挨拶された。

その後、企業ごとに代表留学生を中心に発表が行われた。発表を終えた留学生には高橋会長より箱根寄木細工の記念品がプレゼントされた。

留学生からの主な感想

- ・ 学校生活とは違った角度で日本という国について知ることができた。
- ・ 働くことは生活する為だけでなく、むしろ自分を成長させることだと気付いた。
- ・ 日本企業は冷たいと思っていたが、実際に接したらとても親切でイメージが変わった。

受入れ企業からの主な感想

- ・ 留学生の貪欲さを見習い、今後のカリキュラムに反映していきたい。テーマを設け更に質を高めていく必要がある。
- ・ 学生と文化の違いを話すことにより、偏りがちだった考え方を見直す良い機会となった。



発表が終わった後、インターンシップの実施風景ビデオを上映し、その後、日揮プランテック（株）のポーディアルアニル氏より、留学生OBとして日本企業で働いている感想や体験談、現役留学生へのアドバイスを戴いた。

最後に神奈川大学の中島学長より「各企業の取り組みに敬意を表し、今後大学側ももっと改善し、インターンシップが2週間という期間で更に成果の出るようものにしていきたい」と締め括られた。

その後の懇親会では、留学生を囲み50名を越える方が参加され、留学生との交流を深めた。

（実施後アンケートや関連資料にご興味のある方は事務局までご連絡下さい。）